

2013年1月15日発行

K

(社)神奈川県理学療法士会ニュース
The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

1 2013
January
No.249

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 加賀谷善教

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[24.12.1現在]

3,695名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告/会長行動報告 p6▶学会情報 P8▶研修会・講習会
P10▶information P11▶理事会報告 P20▶ちょいと P21▶解剖こぼれ話/いい本みつけ
P22▶求人案内 P28▶編集後記/原稿・広告送付先

巻頭言



読書のススメ

医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院

リハビリテーション部科長 大木 雄一

私は自他共に認める「本の虫」である。純文学、娯楽小説、ノンフィクション、絵本等ジャンルは問わず、本なら何でも好きである。そんな訳で休みの日には本屋を何軒かハシゴし、面白そうな本を求めてブラブラするのが常である。

そうすると、巷には面白い本、ためになる本がたくさん溢れていることに気付く。そんな本をできるだけ多くの人に知って貰いたいと思っているので、「この本、面白いから読んでみて」と、なかば押し付けるように部下に読了した本を渡しているのだが、何ヶ月たってもリアクションがないことがよくある。堪えきれずに「どこまで読んだ？」と訊ねてみると、「すみません。(約300ページ中の) 20ページまでしか読んでないです」と、とても申し訳なさそうな言葉が返ってきたりする。そんな時は、「読みたくもない本を押し付けて悪かった。上司の立場を利用して読書を強制しているという点で、これはパワハラの新種、読ハラなのか？」と、当方も申し訳ない気分になる。私は、ただもう純粋に読書の面白さを多くの人に知ってもらいたいと願い、できれば読んだ本の内容を酒の肴に若者と語り合いたい、接点を持ちたいと少し不純に切望しているだけなのだ。

若者の活字離れが進んでいるようだ。このような見方に異を唱える向きもあるようだが、当院の若手職員を見ているとそう思わざるを得ない。業務に関する専門書は一所懸命読むのだが、それ以外の書物はほとんど読まない。勿論新聞を購読している者などほとんどいない。何故読書をしないのかと問うと、「時間がないから」とか「興味がないから」という返答が決まって返ってくる。「売れっ子芸能人か?」、「普段本を読まないのによく難解な専門書を読解できるな」などというツッコミを入れたくなるのを必死にこらえ、「読書のススメ」をしてみるのだが結果は芳しくない。

何故か。少し考えてみた。どうやら当方の説明の仕方に問題があったようである。一般論として、「人生が豊かになる」とか「政治や経済に興味関心を持つことは社会人とし

て当然」といった言辞で書物や新聞を読むことの意義を説いても、即時的な自己の利に興味関心の高い当世若者気質にはフィットしなかったようである。そこで、書物(特に小説)を読むことが、我々医療従事者にとってどのように役に立つのかという観点—このような見方は読書愛好家からすると邪道もよいところなのであるが、読書の楽しさを知ってもらうという目的を達成するために手段の正邪にはあえて目を瞑ることにする—から、読書の効用についての管見を述べてみたい。

読書(小説)の効用の筆頭として、「他者への共感力の感得」を私は挙げる。小説では登場人物の心の動きが克明に描写されていることが多い。そんな時に私がしばしば感じるのは、「この場面でこんな感情を持つ人がいるのか、こんな考え方をする人がいるのか」といった驚きを通して得られる、自分と他人は結局異質であることの再認識である。多くの人にとって、これまでの自分の人生を通じて得た価値観や思考様式からはなかなか逃れられるものではない。しかし、様々なバックグラウンドを有する登場人物にあふれた小説世界は、様々な感情がうごめく見本市のようであり、その世界に触れることで自己の価値観や思考様式を再構築する可能性に開かれていると思うのである。その結果、自分とは異なる他者の物事に対する見方、感じ方に対する一定の配慮や共感する力を感得できるのではないだろうか。このように考えると小説は我々のような医療従事者にとっての貴重な教科書のようにも思えるのだが、皆さんは如何お考えだろうか。

新しい年を迎えた折でもある。何かを始めるのにこれほど相応しい時はない。拙稿を機に、読書をしてみようと思った方が少しでもいて下されば幸いである。最後に、最近読んだ本の中からオススメを2冊。「天地明察(沖方丁)」と「舟を編む(三浦しをん)」。どちらも「仕事」をテーマにした胸が熱くなる小説だ。自分の仕事に対するスタンスと照らし合わせて読むと、色々な感情が湧き上がること請け合いである。

活動報告

子育てしながら働くということ

聖マリオンナ医科大学横浜市西部病院 立石真純さん

会員ライフサポート部
活動報告 第37報
職場環境を考える

「3人の子育てをしながら大学病院で働いている人はめずらしいので、しかも男の子3人！ぜひ経験を書いてもらえると…」と今回原稿依頼をいただきました。今の生活が日常となっている私にとって、改めて何を書いたらいいのだろうかと考えてみました。そして、現状と日々悩むこと、考えることを率直に書いて、どなたかの参考になればと思い、書かせていただくことにしました。

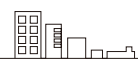
現職場は、私にとって3ヶ所目の職場であり、第1子出産後1年半でパートタイムとして採用していただいたことから今につながっています。第2子出産の為、一度退職しましたが、院内保育園の開園に合わせ、第1子が3歳、第2子が4ヶ月の時点で院内保育園に預け、パートタイムとして働きはじめました。その後、常勤採用へと切り替えていただくことができ、第3子出産の際には産休、育休制度を利用することができました。その間、院内保育園の受け入れ年齢の変更などがあり、長男が職場近くの認定こども園(保育園)を併設した幼稚園に保育園在籍として通うことになりました。その為、預け先が長男と次男とで2ヶ所になってしまい、出勤時は常に慌ただしく、時に、忘れ物をしてしまうこともあり、子どもたちに怒られる日もありました。その後、次男が年少になる時点で長男と同じ保育園に入園し、出勤時の慌たしさはかなり改善されました。また、幸運にも第3子も1ヶ月の慣らし保育を経て生後7ヶ月の時点で預かってもらえるようになりました。

復帰の時期に関して感じることをまとめてみます。第1子のときは、切迫流産の診断で早期に前職場を退職し妊娠期間も含めて約2年臨床から遠ざかることになりました。その後の復帰は、私にとって不安が大きく、また長男にとっても1歳半となり保育園に預けられることを理解できるがゆえに、しばらくは毎朝大泣きで母子ともに慣れるまでつらい思いをしました。2年臨床を離れると、臨床経験7年目にも関わらず、血圧測定や移乗介助、患者さんとの接し方に不安を感じてしまいました。私の職場では復帰後、そのような不安も考慮してくださり身体的、精神的負担の少ないような配置を整えてもらえました。そのおかげで徐々にブランクを埋めていけたように思います。このような経験から第2子以降は働ける体制が整い次第なるべく早く職場復帰をしたいという思いで復帰の時期を考えました。第2子は4ヶ月、第3子は6ヶ月から保育園に預けましたが、このくらいの時期ですと泣くこともなく預けられ、早くから家以外の生活や家族以外の人にも慣れていくことができました。ま

た私自身も臨床の感覚を忘れないうちに戻れたように思います。子どもたちも、そして私自身も早くから社会に出て、たくましく成長していけていると感じています。復帰時期は人それぞれだと思いますが、私はこのように考えました。



次に、子供たちの預け先のことについてまとめてみます。上述したように、横浜保育室、院内保育園の利用を経て、現在では3人とも職場の近くの認定こども園を併設した私立幼稚園に通わせていただいています。年長、年少、0歳児ですが3人とも保育園在籍になっているため保育料の面では次男が長男の半額、三男にいたっては保育料がかからず、恵まれた環境にあります。また長男と次男は、保育園在籍ながら幼稚園教育を受けることができます。また幼稚園でするのでお弁当の日もありますが、保育園在籍のため給食をお弁当箱に詰めてくれるという働く母親にとってはこれもまた恵まれている点だと思います。生活環境として自宅と職場、保育園ともに近いということも、子育てしながら働く際には、大きな利点と言えます。今まで色々と子供たちの預け先を検討、利用してきました。その中で、安心して働くためと、子どもが年少の段階になったときに受けさせられる教育、経験の違いなどを思うと、子供の預け先は重要な検討事項だと思っています。最近増え始めた認定こども園併設の幼稚園には十二分に満足していますし、息子たちも毎日「お迎えが早いよ」というほど幼稚園が楽しくてしかたない様子で、毎日夕食後すぐに力尽きて寝てしまうほどです。



最後に、働く親にとって共通した一番の悩みだと思えますが、子どもが体調を崩したときにどうするかということの考えをまとめたいと思います。通常、幼稚園や保育園には病児保育は行っていないところがほとんどだと思います。私の職場の院内保育園では病児保育を行っており、登録だけして必要なときに利用できるようにしています。でも、子どもが具合の悪い時に病児保育に預けるのは本当に心が痛むところではあります。実際には、実家の両親が近くに住んでいるので、両親をお願いをしたり、職場にご迷惑をおかけして私や主人がお休みをとったりしてなんとかやりくりしており、病児保育の利用はほとんどしていません。どうしても仕事を休みづらいときや、熱は下がったけれども病み上がりで通常保育は大変なとき、実家の両親も都合がつかないときのために登録をしてあります。いくつかのパターンを準備しておくだけでも働く上では安心材料かと思えます。本音を言えば、子どもの具合が悪いときは、子どもにとっては、やはりママと一緒にいてほしいものですし、母親としても何よりも子どもを優先して一緒にいてあげたいと思います。



私は職場に恵まれ、上司は、「子どもを優先してあげて」とおっしゃってくれています。また他のスタッフにも気を遣っていただき、本当に心より感謝をしています。しかし、忙しい臨床に1スタッフとして欠けることで他のスタッフにしわ寄せがくるのは事実で迷惑をかけているのは本当に心苦しく感じます。3人いると体調を崩すのも3倍…何度も、大学病院でなくてもいいのかもしれないと新たな職場を考えたこともあります。しかし、私にとって、尊敬できる上司のもと、この職場で今までの経験を活かして頑張っていきたいという思いがありました。ゆえに、辞めることを考えるのではなく、この職場において、できるときにできるだけの貢献をしようと心がけるようにしてみました。9時から16時という育児時短制度の利用をさせていただいていま

すが、なるべく朝のミーティングへの出席、子どもたちの迎えが16時を過ぎても大丈夫なときは、なるべく私にできることがあればという姿勢でいます。年齢を重ね、経験年数も11年目になりました。経験年数に見合った役割を果たしているのかということも考えることもあります。しかし、三男を出産して精神的にもたくましくなった今思うことは、謙虚に、そして大らかに物事を考えることが大事なのではないかということです。やはり一生懸命勉強して資格をとった理学療法士という仕事が私にとっては魅力的なもので、

そして子どもが何よりも大切であるということすべてを考えても、働くことは家族のため、自分自身のために続けていきたいと思っています。これから、出産後も働き続けたいと願う理学療法士の方々に伝えたいのは、職場に迷惑がかかるからという思いになるのは当然だと思います。しかし、子育てしながら働くことを後押しする制度が整ってきた今だからこそ、自分ができること、できないことを明らかにして周囲に協力を求めることが大切になってくると思います。そして、自分が

できる職場への貢献の仕方を考え実践していくことが求められていることを自覚することが必要だと思います。難しいことだとは思いますが、働くママPTが増えていってくれれば私も嬉しいです。そして、そのような人が増えれば増えるほど働きやすい職場が増えていくことと思います。

子育てしながら働くことはとても大変だと思います。帰宅後一息つく間もなく家事や子どもの世話をし、一瞬にして子どもたちと一緒に寝入ってしまいます。そしてあっという間に朝が来て、また一日が始まります。このような毎日ですが、子どもの笑顔や成長、家族、職場のみなさん、患者さんとのやりとりに励まされながら充実した毎日を過ごしています。長くなりましたが、何かの参考になれば幸いです。また、この場をかりて職場のみなさん、そして家族に感謝したいと思います。



活動報告

平成24年度藤沢市保健衛生表彰

神奈川県立保健福祉大学 内田賢一

平成24年11月8日（木）、藤沢市保健所において、平成24年度藤沢市保健衛生表彰式がおこなわれ、本会の齋藤幸広先生が表彰されました。

齋藤先生は、昭和55年に理学療法士免許を取得され、横浜市立大学附属病院等で8年間の臨床経験を積まれた後、昭和63年4月に藤沢市民病院リハビリテーション室に着任されました。藤沢市民病院では、理学療法技術の向上やサービスの質の向上のみならず、理学療法士を目指す学生に対する臨床実習指導も活躍されました。本会会員の中にも、齋藤先生の実習指導（理学療法のみならず、宴席における大人としての指導も含めて）を受けられた方も多数いらっしゃることでしょう。

また、平成8年度から15年度までは神奈川県医療専門職連合会の理事、同じく平成8年度から17年度までは本会社会局理事として、藤沢市の理学療法士としてのみならず、他医療福祉団体と協働し、25年間にわたる藤沢市の保健衛生の

発展への功績は多大なものであると認められ、表彰されました。現在は、藤沢市民病院の新病棟建設に合わせて、新しいリハビリテーション室の構築に向けて、関係部署との折衝にご尽力されております。

齋藤先生、本当におめでとうございました。



秋のセミナーの報告

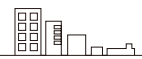
公益事業推進部 相馬光一

平成22年横須賀からスタートした秋のセミナーを今年は平塚市で開催しました。テーマは昨年の理学療法フェスタ公開セミナーで好評でした「転倒予防」です。講師を地元平塚市民病院で勤務されていた福島勉氏（Re ambitious リハセンター R-studio）にお願いしました。また、近隣の会員所属施設にはポスターの掲示をお願いしました。おかげさまで40名ほどの申し込みがありました。厚くお礼申し上げます。

当日は天気に恵まれ、27名の皆さまに熱心にご参加いただきました。アンケート結果は好評で関心の高さが伺えました。そして、実技後に体操の効果を実感できたことでより理学療法の効果を伝えることが出来たのではないかと感じました。

公益事業推進部は一般向けの企画に取り組んでおります。部員として働いていただける方を募集しております。12pt-festa@pt-kanagawa.or.jp相馬までご連絡下さい。

<p>いつでも前向きに 生きていたいあなたへ。</p> <p>「がん」「心疾患」をはじめとする生活習慣病や、交通事故によるケガが心配な現代では、万が一のための備えがあれば安心です。いつでも前向きな気持ちで過ごすために、一生互の医療保障を準備しませんか？</p> <p>＼新登場！</p> <p>生きるためのがん保険 Days</p> <p>もっと頼れる医療保険</p> <p>新EVER</p> <p>エヴァー</p>	 <p>◎詳しくは、「パンフレット(契約概要)」・「ご契約のしおり抜粋」・「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。</p>	<p>■募集代理店 国際保険株式会社</p> <p>〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F TEL : 0120-5931-98 FAX : 0120-5544-23</p> <p>■引受保険会社 Affac アフラック 首都圏総合支社 (アメリカンファミリー生命保険会社) 〒160-0023 新宿区西新宿1-23-7新宿ファースト117F TEL : 03-3344-1580 FAX : 03-3344-2028</p> <p>AF069-2010-0059 3月17日</p>
--	---	---



～生涯学習部より『C-6症例発表』認定についてのお知らせ～

神奈川県理学療法士会 生涯学習部

平成24年度（今年度）から日本理学療法士協会（以下協会）生涯学習システム・新人教育プログラムの新システム開始により単位認定の方法や修了申請方法が変わりました。

神奈川県理学療法士会（以下本会）においては、システムの移行期間と考え、『C-6症例発表』の認定について、発表年度を問わず認定を行ってまいりました。

本会としては新システムへの移行にともない、発表年次が平成23年度以前の発表の認定作業を

平成25年3月31日を持って終了

とさせていただきますこととなりましたのでお知らせ致します。

平成23年度以前の発表において認定を希望される方は、今年度中に申請頂きますようお願い致します。平成25年4月1日以降は、一切認定いたしませんのでご注意下さい。

また、今年度より協会主催の学会（全国学会、関東甲信越ブロック研修会、県学会）の発表は、主催学会より協会へ発表申請が行われることになりましたので、発表者が『C-6症例発表』の申請は不要となりました。発表後は、各自協会のマイページをご確認頂き、不明な点は直接協会へお問い合わせ下さい。

今後は、平成24年4月1日以降に他団体や学術サークルなどで行われた発表のみ認定作業を行います。申請料は不要となりますので、申請書と必要書類をご準備頂き申請頂きますようお願い致します。

平成24年3月31日以前の発表
申請締切 平成25年3月31日（消印有効）

<申請・問い合わせ先>

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9

横浜市立大学附属病院 リハビリテーション科 外来 担当：島津尚子・小林寿絵

TEL：045-787-2800（代）

e-mail：syoreikentou@pt-kanagawa.or.jp

※「新人教育プログラム『症例発表』申請書在中」と必ず朱書きして下さい



月	日	内容	場所
10月	3日（水）	会務決済 第49回学会準備委員会	事務所 事務所
	4日（木）	協会役員研修会・全国都道府県理学療法士会会長会議	鹿児島
	16日（火）	会務決済 第7回理事会	事務所 事務所
	19日（金）	県医療専門職連合会公開セミナー	横浜
	21日（日）	中間監査会	事務所
	26日（金）	会務決済 県介護福祉士会記念式典・祝賀会	事務所 横浜
	11月	7日（水）	会務決済 第49回学会準備委員会
13日（火）		第4回常任理事会	事務所
16日（金）		県栄養士会設立40周年記念式典・祝賀会	横浜
20日（火）		会務処理 第8回理事会	事務所 事務所

学会情報

第49回日本理学療法学術大会だより (No.1)

学術大会長 長澤 弘 (神奈川県立保健福祉大学)



新年明けましておめでとうございます。第49回日本理学療法学術大会開催まで、1年5か月になりました。神奈川県士会会員の皆様には、今後ますますのご協力を賜りながら、準備を進めてまいりたいと思います。新年にあたり「第49

回日本理学療法学術大会だより」第1報として、ご報告させていただきます。


開催期日は2014年 5月30日(金)～6月1日(日)で、会場はパシフィコ横浜です。近年に開催された日本理学療法学術大会では、エビデンスを中心とした学術大会テーマが続いてきました。我が神奈川県では、過去に学術大会等で討議されてきた理学療法に関するエビデンスを総合的な基盤として、10万人体制となる日本理学療法士協会員が、国民の健康を守り、暮らしや生活を支えるという視点をテーマとして取り入れました。大会テーマは『あなたの生活を支えます - 理学療法士10万人からの提言 - 』です。大会テーマに沿った特別講演やシンポジウム、教育講演を企画

中であり、あっと驚かれる講師にも現在交渉中であり、決定次第皆様にお知らせいたしますので、楽しみにしてください。

採択予定演題は、専門領域研究部会を含め、口述演題を約500題・ポスター演題を約1,000題として進めておりますので、県士会の会員の皆様も2013年の第48回名古屋大会に続いて、第49回大会への演題エントリーを是非ともお願いいたします。

近年の学術大会規模が徐々に拡大し、昔ながらの県士会会員による手作り運営は、もはや困難であるため学術大会運営業者にも運営をお願いしながらの大会になります。神奈川大会での運営業者も決定し、順次必要要件を企画運営しながら準備を整えていきますが、そうはいつでも県士会会員のご協力をいただかなければならない場面も多く出てまいります。今後学術大会だよりとして士会ニュースやホームページに掲載していきますので、どうぞ注目していただくとともに、必要なときにはお力をお貸しいたきますようお願い申し上げます。





Daiwa House
大和ハウスグループ


www.daiwahouse.co.jp/robot/
☎ 0120-934-576


**ロボットスーツ HAL® 福祉用は全国で稼働中。
デモンストレーション好評受付中!**

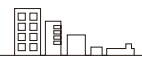
お住まいのことからロボットまで。
お気軽に下記までお問い合わせください。

大和ハウス工業株式会社
東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号
ヒューマン・ケア事業推進部 ロボット事業推進室

メンタルコミットロボット
パロ 好評癒し中。







第30回神奈川県理学療法士学会のご案内（第4報）

《たくさんの演題が集まりました》

演題発表に関する最新情報は、学会ホームページにてご確認ください。

活発な意見交換の場となりますよう、準備をすすめております。当日、たくさんの方々のご参加を心からお待ちしております。

～託児所案内（続報）～

学会ホームページ内「託児所お申込み」より、申込みを開始しています。申し込み締め切りは、2月22日（金）までです。500円でのご利用は先着順ですので、お早めに！詳しくは、ホームページをご覧ください。

●新人教育プログラム取得可能単位と専門・認定理学療法士に関わる（新人教育プログラム修了者）ポイントについて
下記〈表〉を参照

●その他のお知らせ

■学会ポスター・ちらし配布予定

本ニュースとともに、学会ちらしが同封されておりますのでご覧ください。

2月上旬頃、各施設に学会ポスター・ちらしを送付いたします。施設利用者様、関連職種の方々、ご家族様、などたくさんの方へ県民講座のお知らせとしてご活用ください。

■学会抄録集作成中

2月中旬頃、理学療法—技術と研究—と一緒に、お手元へお届けできる予定です。

■お食事処のご案内

会議センター2F パシフィコティールームや、会議センター6F バイブリッジカフェテリアをご利用できます（有料）。会場周辺情報をホームページ内にUpしてありますので、ご活用ください。尚、発表会場内は飲食禁止となっておりますのでご承知おきください。

●学会に関するお問い合わせは

Mail：30ptcon@web.fc2.com/までお寄せください。

●第30回神奈川県理学療法士学会の最新情報は、ホームページからご覧いただけます。

<http://30kpt.web.fc2.com/>

〈表〉本学会参加、発表、セミナー・県民講座受講等により、以下の単位・ポイントが取得できます。

	新人教育プログラム履修者	専門・認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント
学会参加	C-7 士会活動・社会貢献	1. 学会参加 6) 都道府県士会学術集会・学会 10ポイント
セミナー受講	C-4 高齢者の理学療法	設定なし
県民公開講座受講	C-1 神経系疾患の理学療法	設定なし
演題発表	C-6 症例発表	4. 学会発表等 4) 都道府県学会での一般発表（指定演題含む）の筆頭演者 5ポイント
座長	設定なし	4. 学会発表等 8) 都道府県学会での座長 5ポイント

※本学会から、会員証（H24年3月発行の右記デザイン）による会員証明・参加受付・ポイント管理を導入しています。
当日は忘れずにお持ちくださいますようお願いいたします。
（NICOSカード、楽天カードではありません。）



（NICOSカード、楽天カードではありません。）

●県士会主催

研修会・講習会



平成24年度 学術講習部主催 第4回講習会のお知らせ

テーマ：運動発達の運動療法への応用
 内容：小児～成人の脳性麻痺の治療に関する様々な知識・技術を学んでいく中で、運動の基礎となる“発達”という観点から、立って歩くまでに必要な能力を考え、運動発達について実技を交えて講義をします。また“発達”の考えを通して、日々の臨床において治療内容を見直すためのポイントについても講義していただきます。
 日時：平成25年2月17日(日)
 13:00～16:00(受付開始12:30～)
 会場：横浜市総合リハビリテーションセンター 1F ホール
 講師：元横浜市総合リハビリテーションセンター・理学療法士・三沢峰茂 先生
 受講料：2,000円

申込方法：参加登録はオンライン登録をお願いします。神奈川県理学療法士会ウェブサイトの[講習会・研修会情報]から登録してください。

申込受付期間：平成25年1月21日(月)～平成25年2月8日(金)
 定員：40名(定員に達した時点で締め切りとなります)

対象：県士会員、協会員

単位認定：C-1 神経系疾患の理学療法

その他：当日、実技を行う予定です。更衣室をご用意しますのでジャージ等動きやすい服装のご用意をお願いします。

お問合せ先：横浜市北部地域療育センター 通園課 理学療法士
 清水陽一

TEL：045-942-3451

Mail：shimizu.yo@yokohama-rf.jp

【緊急告知】平成24年度 第4回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

神奈川県理学療法士会学術局生涯学習部

過日開催されました第2回新人教育プログラム研修会では、定員をはるかに超える受講希望があったために、多くの会員にお断りをしなければならず、大変ご迷惑をおかけいたしました。申し訳ございませんでした。

この度、神奈川県理学療法士会の学術局生涯学習部では、会員のみなさまのご希望に沿うべく新人教育プログラム研修会(第4回)を追加開催する運びとなりました。

内容につきましては第2回新人教育プログラム研修会に準じた講義を予定しております。

ご自身の単位取得状況と、研修会スケジュールの最新情報をご確認のうえ、Web上でお申し込みください。

なお、第4回新人教育プログラムに限り、**神奈川県理学療法士会所属の会員限定**で申し込みを受け付けます。

会場の受付では、研修会直近の本会に所属する会員名簿に基づいた入退室受付システムを使用しますので、**受付で本会所属以外の会員と判明した(システム上に会員情報が無い)場合、受講をお断りさせていただきます。**

予めご承知おきください。

開催日：平成25年3月24日(日)
 9:00～16:00(受付開始8:30～)

開催地：神奈川県立保健福祉大学 講堂

定員：450名(先着順)

申込開始日：平成25年2月18日(月)12:00～ Web登録のみ

申込締切日：平成25年3月15日(金)

時間帯	単位	新人教育プログラムテーマ
9:00～10:00	1	B-1: 一次救命処置と基本処置
10:10～11:10	1	B-2: クリニカルリーディング
11:20～12:20	1	D-1: 社会の中の理学療法(政策含む)
昼 食		
13:20～14:20	1	D-2: 生涯学習と理学療法の専門領域
14:30～15:30	1	E-3: 国際社会と理学療法

注) 諸事情により当日スケジュールの変更がある場合がございます。最新情報をニュース、ホームページでご確認ください。

注) Web登録したテーマについての当日キャンセルはできませんので予めご承知おきください。

お問合せ先：横須賀共済病院 リハビリテーション科

E-mail: reha-ykh@ykh.gr.jp

生涯学習部 部長：木村 充広

Wheelchair for Seating



日本ウイール・チェア株式会社
 〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
 TEL 0424-63-1511 FAX 0424-63-3730
 ○九州支店 TEL 093-613-2833 FAX 093-613-2854
 ○関西支店 TEL 06-6391-6022 FAX 06-6391-0927
 ○千葉支店 TEL 043-264-4939 FAX 043-264-4935
 ○福島支店 TEL 0245-46-6981 FAX 0245-45-0800



そのほか当社では
 福祉用具レンタル・販売
 も取り扱っています



車のすなんでも相談



●他団体

研修会・講習会



第4回神奈川内部障害研究会

<p>日 時：平成25年2月9日(土) 18:30～(受付開始18:00～)</p> <p>会 場：ウィリング横浜(京急上大岡駅直結)</p> <p>概 要：神奈川県内の理学療法士の臨床において、内部障害(呼吸・循環・代謝)に対する理解と知識を深め、情報を共有していくことを目的としています。 第4回となる今回は、臨床における栄養管理と理学療法との関係を見直し、明日からの現場に活かせる内容となっております。講師にはあの「PT・OT・STのためのリハビリテーション栄養」で有名な若林秀隆先生をお迎えする予定です。 また、症例検討も同時に行っていきたいと思っております。</p>	<p>参加費：1,000円(資料・会場費として)</p> <p>定 員：70名</p> <p>内 容：特別講義・症例検討</p> <p>講 師：若林 秀隆 先生(横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科 医師)</p> <p>症例検討：募集中、詳細は事務局にメールでお問い合わせください</p> <p>申し込み先：神奈川内部障害リハビリテーション研究会事務局 (湘南鎌倉総合病院 桑島泰輔) e-mail: naibusyougai2011@yahoo.co.jp</p> <p>お問合せ先：神奈川内部障害研究会 井出 篤嗣 TEL: 045-743-9965 Mail: idede-su@m7.gyao.ne.jp</p>
---	--

状況的アプローチ入門

一脳性運動障害のための特別のアプローチやブルンストロームステージは本当に必要か？一

<p>日 時：2013年2月10日(日) 11:00～16:00(受付開始10:30～)</p> <p>会 場：特別養護老人ホームピオラ市ヶ尾4階研修室 住所：横浜市青葉区市ヶ尾町25-7</p> <p>概 要：【状況的アプローチとは？】 状況的アプローチとは、西尾氏により構築された治療概念で、柔軟性・筋力・持久力・環境等を始め、利用者を取り巻く様々な状況を変化させながら、より良い状況を創り出すための「状況変化の技法」だと言えます。疾患を選ばず適用できる治療概念で、急性期の脳血管障害や運動器疾患、重度身体障害者、介護保険施設、小児分野等、様々な分野で効果を上げています。発想は斬新ですが、その実践は非常にシンプルで、すぐに日々の臨床に取り入れることができます。奥深さという面ももちろんありますが、かなりの部分は誰もが簡単に実践できて、誰もが簡単に効果を出せるという面もあります。</p>	<p>今講習会では、このアイデアが生まれた背景から基本的な考え方、治療の実際やその効果を簡単に紹介して頂きます。 また、運動制御、運動学習の理解は我々セラピストにとって必修ですが、従来の正常な運動プログラムを再構築するという反射/階層理論を基にしたアプローチから現代のシステム論を基にしたサブシステムを改善していくというアプローチに世界では変化しており、システム論について分かりやすく講義して頂くとともに、その歴史を振り返りながら、日本の臨床での治療や評価の状況や問題点などについての考察をしていただきます。</p> <p>講 師：西尾幸敏 介護老人保健施設 葵の園 PT</p> <p>会 費：4,000円</p> <p>対 象：PT,OT</p> <p>講義形式：座学</p> <p>申し込み先：s-k.course@hotmail.co.jp 勝浪まで</p> <p>お問合せ先：PNF.groovy 勝浪 省三 HP: www.pnf-groovy.com</p>
---	--

私の考える膝関節の理学療法(超音波機能解剖と運動療法との接点)

<p>日 時：平成25年2月3日(日) 10:00～16:00予定</p> <p>会 場：臨床福祉専門学校 講堂(東京都江東区)</p> <p>概 要：2013年2月に再び中部学院大学教授 林典雄先生を講師にお招きすることができました。 今回のテーマは『膝』です。前回同様に今回も度肝抜かれる内容をお話し頂けると思います。 林先生は理学療法界の未来を作る人だと、当研究会一同は考えています。 今後も林先生の考えや技術を広めることに貢献していきたいと考えています。 先着順ですので、奮ってご応募ください。</p> <p>内 容：1. 膝関節疾患の捉え方 ・概要：膝関節疾患をどのように捉えるのか、その考え方を解説して頂きます。 ・各論：各疾患別にその病態はどのようにになっているのかを解説して頂きます。</p>	<p>2. 治療の考え方と実際 ・各疾患の治療の考え方：「1.の疾患の病態の解説」を踏まえ、治療はどのように考えていくのかを説明して頂きます。 ・各疾患の治療の実際：実際の治療を説明して頂きます。</p> <p>講 師：林 典雄 先生(中部学院大学教授)</p> <p>参加人数：200名程度予定 先着順にて応募受付中</p> <p>参加費：7,000円(『臨床家のための運動器研究会』は非営利の活動を行っています。)</p> <p>対 象：誰でも参加可能ですが、先着順にて受け付けています</p> <p>申し込み先：臨床家のための運動器研究会のホームページ：http://undouki.com/ から必要事項を記入の上、お申込みください。※携帯からの場合、下記のメールアドレスを必ず受信許可設定してからお申込みください。</p> <p>お問合せ先：臨床家のための運動器研究会 園部 俊晴 TEL: 044-572-4590 Mail: undouki@ac.auone-net.jp</p>
--	---



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願いします。

紛失・破損等による再発行は、有料（500円）となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

(社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 山口 泰成

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

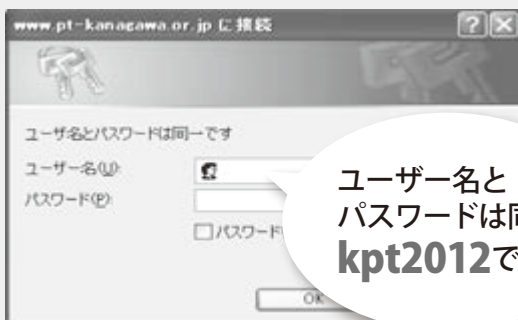
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

(社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 山口 泰成

アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

理事会報告



社団法人 神奈川県理学療法士会 2012年度第4回理事会報告

I. 日 時：2012年7月17日（火） 19:00～21:30

II. 場 所：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事定数：15名

出席理事：秋田 裕、隆島研吾、炭 孝昭、林 克郎、山口泰成、佐藤史子、坪内敬典、福島 努、惣田 洋、相川浩一、久保雅昭、露木昭彰、内田賢一、小山理恵子

欠席理事：大槻かおる

出席監事：井上 保、安藤徳彦

出席事務局員：石川久子

IV. 議長団選任

議 長：秋田 裕

副議長、議事録署名人は出席理事の互選にて以下のように選出された。

副 議 長：炭 孝昭

議事録署名人：隆島研吾、林 克郎

V. 配布資料

- ・第4回理事会議事案
- ・2012年度第3回理事会議事録
- ・協会会員管理システム活用ツール概要説明
- ・城下町小田原ソーデーマーチ案内チラシ・開催要項（冊子）
- ・事務局：理事会資料、ニュース編集部・ウェブサイト管理部事業報告
- ・学術局：学術局理事会資料、学術誌編集部報告、学術講習部報告、臨床実習教育部報告、生涯学習部報告、新人教育プログラム・生涯学習プログラムシステムについて、（社）神奈川県理学療法士会研究会講習会等修了証書運用規定（案）、修了証書（案）
- ・社会局：第4回理事会事業報告書、スポーツ支援・健康増進部事業報告、環境支援部事業報告、介護保険部事業報告、中途障害支援部事業報告、公益事業推進部事業報告

VI. 議事内容

- (1) 会長挨拶・会長行動報告
- (2) 2012年度第3回理事会議事録（承認）
 - ・2012年度第3回理事会議事録が、一部修正のうえ承認された。
- (3) 本会会員・研修管理システムの統計機能に関する報告
 - ・日本理学療法士協会会員管理システム導入に伴い、本会会員管理システムが改修され、新たに統計ツールが加わった事が報告された。
 - ・各部・委員会でデータベースが必要な場合は理事会にて承認を得ることが確認された。
- (4) 各局・部・委員会報告（承認）

1.事務局

①会員異動報告、入会者の承認

- ・前回理事会より入会150名が承認され、転入15名、転出2名、休会1名（継続）、復会1名、退会0名、県内

異動12名があり、7月17日現在の会員数が3,693名であることが報告された。

・賛助会員は現在11社であることが報告された。

②各種団体よりの依頼事項の件

- ・訪問リハビリテーション振興委員会より「訪問リハビリテーション地域リーダー育成会議」への参加者推薦依頼があり、相川浩一氏、久保木あずみ氏を推薦することとなった。
- ・神奈川県高等学校野球連盟より「メディカルサポートチェック」の協力依頼があり、先方のメディカルサポート体制の現状を確認した結果、例年通りのサポートを行うことが承認された。
- ・日本理学療法士協会よりアンケート調査対象施設の推薦依頼があり、アンケート内容が不明確な為保留となっていたが、日本理学療法士協会に調査内容等を確認した結果、理事より推薦された5施設を推薦することとなった。
- ・神奈川県障害者社会参加推進センターより「歩行訓練会」への協力依頼があり、開催地近隣の会員を推薦する方向で調整中との報告があった。
- ・小田原市スポーツ課より「城下町小田原ソーデーマーチ」のポスター等の印刷物に、協力団体としての本会の名称使用依頼があり承認された。
- ・神奈川県病院協会より「第31回神奈川県病院学会に係る名義使用及び研究発表の募集周知」の依頼があり承認された。
- ・神奈川県公衆衛生協会より「平成24年度神奈川県公衆衛生協会会長表彰候補者」の推薦依頼があり、表彰審査委員会が選任後、次回理事会で審議することとなった。

③各部事業報告

- a) ウェブサイト管理部
 - ・ホームページリニューアルに伴い、委託業者を選定中であることが報告された。
- b) 広報部
 - ・第1回および第2回のインタビュー取材が終了し、デザインを検討中であるとの話があった。
 - ・ホームページ掲載デザイン案が提案され、一部修正の上、掲載することが承認された。

2.学術局

①各部事業報告

- a) 学術大会部
 - ・今吉第30回神奈川県理学療法士学会長より、現在までの進捗状況が報告された。
 - ・復興チャリティー企画（ミネラルウォーター販売）案が提案されたが、会計処理方法について会計事務所に確認後、再度検討することとなった。

理事会報告

- ・ 本会公益社団法人移行登記が平成25年4月1日付で行う場合、第30回神奈川県理学療法士学会内で予算総会を開催することが確認された。
- b) 学術誌編集部
 - ・ 学術誌編集部内で印刷業者の選定を行い、東京プレスに決定したいとの提案があり承認された。
 - ・ 今年度発行予定の本会会報「技術と研究」のテーマおよび執筆者が決定したとの報告があった。
- c) 学術講習部
 - ・ 学術講習会講義時間について、日本理学療法士協会生涯学習プログラム履修ポイントとの関係で、正味2時間程度行っていた講義を3時間の講義に変更可能か否かを講師に確認中であることが報告された。
- d) 臨床実習教育部
 - ・ 9月9日開催の「第1回研修会」および平成25年1月25日開催予定「第2回研修会」についての進捗状況が報告された。
 - ・ 第2回研修会講師については、伊野美幸氏（聖マリアンナ医科大学医学教育文化部門）に打診中であるとのことであった。
- e) 生涯学習部
 - ・ 6月24日に神奈川県立保健福祉大学にて「第1回新人教育プログラム研修会」が開催されたとの報告があり、参加者は延べ423名であった。
 - ・ 受講者から、第1回新人教育プログラム研修会配布資料が見つらいとのクレームがあった為、次回から白黒の原稿を日本理学療法士協会から送ってもらうよう交渉中とのことであった。
 - ・ 第2回新人教育プログラム研修会の開催場所について、県立保健福祉大学から横浜市教育会館に変更するとの報告があった。
 - ・ 「第2回新人教育プログラム研修会」は受講希望者が増大する可能性があるため、年度の後半で2回目の開催をすることが承認された。
- ②その他
 - ・ 新人教育プログラム・生涯学習プログラムシステムについて講習会ID取得等の変更に伴い、本会の様式を変更する必要が生じたため、現在修正中であるとの話があった。
 - ・ 様式変更後は役員メール等で各部長・委員長に周知されるとのことであった。
 - ・ 本会研修会講習会等修了証書運用規定および修了証書書式案が提案されたが、使用する印鑑について司法書士に確認することとなり、次回理事会で再度審議することとなった。

3.社会局

①医療専門職連合会からの報告

- ・ 神奈川県医療専門職連合会理事会が開催されたとの報告があった。

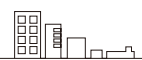
②各部事業報告

- a) スポーツ支援・健康増進部
 - ・ 高校野球メディカルサポートについて、進捗状況の報告があった。
 - ・ 神奈川県サッカー協会からのU-16・U-15トレセンチームに対するメディカルサポートについて、個人宛の依頼となるため、本会事業として成立しない可能性があるが、引き続き協議をしていくこととなった。
 - ・ 6月1日および6月14日に「スポーツ理学療法講習会」が開催されたことが報告された。
- b) 環境支援部
 - ・ 8月6日および8月26日に「PT・OT福祉用具スキルアップ研修会上級コース」が開催される予定であることが報告された。
- c) 介護保険部
 - ・ 6月17日に「第2回神奈川県訪問リハビリテーション地域リーダーミーティング」が開催されたとの報告があった。
 - ・ 8月18日・19日に「第3回訪問リハビリテーション実務者研修会」を開催予定であることが報告された。
 - ・ 一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会より依頼のあった、「訪問リハセミナー（地域研修in 神奈川）」については現在協議中で、今後理事会で報告していくとの話があった。
- d) 中途障害支援部
 - ・ 7月1日に「関連職種研修会」が開催され、参加者が40名であったことが報告された。
- e) 公益事業推進部
 - ・ 8月に開催される「理学療法施設見学会」の開催日および開催会場についての報告があった。

4.その他の委員会

- a) 公益法人対策委員会
 - ・ 7月13日付で神奈川県より公益社団法人移行が承認されたことが報告された。
 - ・ 公益社団法人移行登記は平成25年4月1日を希望として、神奈川県と相談することとなった。
- ②その他
 - ・ 日本理学療法士協会に要望書を提出したとの報告があった。

以上



社団法人 神奈川県理学療法士会 2012年度第5回理事会報告

I. 日 時：8月21日（火）18:30～20:00

II. 場 所：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事定数：15名

出席理事：秋田 裕、隆島研吾、炭 孝昭、林 克郎、山口泰成、坪内敬典、福島 努、大槻かおる、惣田 洋、相川浩一、久保雅昭、露木昭彰、内田賢一、小山理恵子

欠席理事：佐藤史子

出席監事：井上 保、安藤徳彦

出席事務局員：小林和美

IV. 議長団選任

議 長：秋田 裕

副議長、議事録署名人は出席理事の互選にて以下のように選出された。

副 議 長：隆島研吾

議事録署名人：炭 孝昭、林 克郎

V. 配布資料

- ・第5回理事会議事案
- ・2012年度第4回理事会議事録
- ・（社）神奈川県理学療法士会 共催・協賛・後援規定（案）
- ・事務局：事務局理事会資料
- ・学術局：学術局理事会資料（（社）神奈川県理学療法士会研修会講習会等修了証書運用規定（案）、修了証書（案）承認）、学術誌編集部報告（投稿規定の条件変更について）、第30回神奈川県理学療法士会準備委員会報告
- ・社会局：第5回理事会事業報告書、県障害者社会参加推進センター歩行訓練会への協力について承認、スポーツ支援・健康増進部事業報告、環境支援部事業報告、介護保険部報告、発達障害支援部報告、公益事業推進部報告
- ・城下町小田原ツーデーマーチ案内チラシ

VI. 議事内容

(1) 会長挨拶・会長行動報告

- ・7月に協会に提出していた要望書に対し協会より連絡があり、秋田会長、井上監事と協会担当者で会合する事となったとの報告がされ、回答が出次第報告をすることが確認された。
- ・7/29本会会員が起こした事が、新聞に掲載されたとの報告がされた。
それにもない、本会では懲罰規定がないので、施設側への配慮をどうするか等も含め情報を共有し協会に準じて、協会への報告を行う事が確認された。
- ・日本理学療法士協会がまとめた「大規模災害リハビリテーション対応マニュアル」が発行されたことが報告され、本会の書庫に保管することが確認された。
- ・福島県理学療法士会より「東日本大震災福島県理学療法士会震災支援活動記録誌」が発行されたことが報

告され、書庫へ保管することが確認された。

- ・神奈川県看護協会から「准看護師養成停止を求める嘆願書」に署名のお願いが来ている事が報告され、賛同いただける方は、署名を頂きたいとの報告があった。
- (2) 2012年度第4回理事会議事録（承認）
- ・2012年度第4回理事会議事録が、一部修正のうえ承認された。
- (3) 公衆衛生協会会長表彰候補者推薦（承認）
- ・七沢リハビリテーション病院脳血管センターの磯部貴光氏を推薦することが承認された。
- (4) 藤沢市保健衛生功労者所長表彰候補者推薦（承認）
- ・藤沢市保健衛生功労者所長表彰推薦に藤沢市民病院の齋藤幸広氏を推薦することが承認された。
- ・今後の事を考え該当する人を把握することも合わせて確認された。
- (5) （社）神奈川県理学療法士会 共催・協賛・後援規定（案）（承認）
- ・一部修正のうえ8月21日より施行されることが承認された。
- ・既に話の進んでいるものに関しては適用外にする事が確認された。
- (6) 各局・部・委員会報告（承認）

1.事務局

① 会員異動報告、入会者の承認

- ・前回理事会より入会15名が承認され、転入10名、転出9名、休会3名（継続）、復会1名、退会0名、県内異動33名があり、8月21日現在の会員数が3,707名であることが報告された。
- ・賛助会員は現在11社であることが報告された。

② 各種団体よりの依頼事項の件

- ・第17回医療・健康フェスティバルで後援のお願い：神奈川県保険医協会
- ・第15回循環器セミナーで後援等のお願い：神奈川県保険医協会
- ・理学療法士の派遣について（依頼）：茅ヶ崎市高齢福祉介護課本会としては、該当する方がいない事が確認された。
- ・選挙管理運営委員の選出について（依頼）：日本理学療法士協会引続き、南谷先生にお願いすることが、承認された。

③ 各部事業報告

2.学術局

- ・修了証運用規定について一部変更点が報告され承認された。
- ・県委託事業について、平成24年度理学療法士生涯教育推進事業の実施についての依頼があり例年通り「臨床実習教育部実習指導者研修会」「学術講習部リーダー研

理事会報告

修会」を申請予定との報告があった。

①各部事業報告

a) 学術大会部

- ・今吉第30回神奈川県理学療法士学会より、現在までの進捗状況が報告された。
 - ・演題募集、登録が開始されたことが報告された。
 - ・県民講演会の講師が、宮森隆史先生（東海大学文学部教授）に決定した事が報告された。
 - ・セミナーの講師が、決定した事が報告された。
長澤 弘先生（神奈川県立保健福祉大学）
内部障害
井澤和夫先生（聖マリアンナ医科大学病院）
運動器障害 永井 聡先生（広瀬整形外科）
中枢神経障害
溝部朋文先生（横浜市立脳血管医療センター）
地域リハビリテーション
松葉貴司先生（横浜市総合リハビリテーションセンター）
 - ・指定演題：小児の理学療法のテーマ決定が報告された。
「子どもの成長を支え、つなぎあるために—NICUから地域生活をどうつないでいくか」
 - ・HPを活用して会員限定アンケートを準備中である事が報告された。
 - ・学会のロゴが決定した事が報告された。
 - ・印刷業者が、選定されたことが報告された。
 - ・託児委託業者が、選定されたことが報告された。
 - ・震災企画（はまっ子どうしチャリティ販売）
神奈川県、横浜市より名称使用が許可されたことが報告された。
水道局主導での販売、会計処理方法、パシフィコからの仲介料辞退が報告された。
販売本数増のため、まとめ買いの協力をお願いすることが、確認された。
 - ・震災企画パネルおよび抄録集掲載執筆者に、鶴見正隆先生内諾されたと報告された。
 - ・会員アンケート内容について報告された。
 - ・演題登録の要請について、職場、関係者への協力のお願いが確認された。
- ### b) 学術誌編集部・査読委員会
- ・学術誌 投稿規定の他誌の解釈について提案があり報告された。
次回の理事会で、いつからの適用になるのかを報告することが確認された。
- ### d) 臨床実習教育部
- ・9月9日開催の「ケーススタディ実習指導」を町田市文化交流センターで開催予定である事が報告された。事前登録の数が少ないので引続き参加者募

集を募る活動をする事が報告された。

e) 生涯学習部

- ・9月9日に横浜市教育会館にて「第2回新人教育プログラム研修会」が開催予定である事が報告された。今回の研修会よりPCによる入退室受付を開始する事が報告された。
必要なPCを購入するにあたり、先払いで支払う事が承認された。

3.社会局

①医療専門職連合会からの報告

- ・神奈川県医療専門職連合会理事会が開催されたとの報告があった。
公開セミナーについて
他団体への協力・広報活動について
他団体の連合会参入について
- ・臨床検査技師会首都圏学会ブース出展が承認された。
提案があれば、別途連絡をすることが確認された。

②県障害者社会参加推進センターから、9月22日行われる「歩行訓練会への協力について」依頼があり、鶴巻温泉病院の斉藤理那先生と飯田のぞみ先生を推薦することが、承認された。

③各部事業報告

a) スポーツ支援・健康増進部

- ・協力団体として本会の名称使用依頼があり、冊子に名称が記載されていることが確認された。
- ・第14回城下町小田原ツデーマーチ実行委員会から、ポスターの掲出および本会ホームページへのリンクの依頼があり、承認された。
- ・高校野球メディカルサポートについて、進捗状況の報告があった。
- ・神奈川県サッカーチーム国民体育大会へのメディカルサポートについて、神奈川県サッカー協会より依頼の公文書が得られなかったため事業を中止した事が報告された。
- ・三県省道国際交流メディカルサポートについて、神奈川県サッカー協会より依頼の公文書が得られなかったため事業を中止した事が報告された。
公文書が得られるよう引続きサッカー協会と交渉していくことが、確認された。

b) 介護保険部

- ・一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会より、訪問リハビリに関する研修会共催の依頼と修正した予算書について承認がされた。
- ・8月7日に準備委員会が実施された事が報告された。
- ・開催予定日12月1、2日「地域研修会in神奈川（基礎コース）」についての進捗状況が報告された。
- ・一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会よ



り依頼のあった、「訪問リハセミナー（地域研修in 神奈川）」については現在協議中で、今後理事会で報告していくとの話があった。

c) 発達障害支援部

・8月4日に行われた理学療法フェスタの理学療法セミナー「卒業後地域で暮らしていくために～現状と今後の課題を考えよう～」の報告がされた。

基調講演・シンポジウム共に好評であったことが報告された。

・8月4日理学療法セミナー基調講演「地域生活におけるヒューマンサービスの視点」とスポーツ傷害セミナー「足関節捻挫のリハビリテーションー解剖から応急処置・リハビリテーションまでー」が好評だったので、新オリエンテーション・新プログラム・生涯学習プログラム等の企画に採用する事が、提案された。

d) 公益事業推進部

・「理学療法施設見学会」の告知において昨年度のチラシを配布してしまった事が報告された。

・お詫び文書は、理事メールで確認し修正・加筆後、ホームページに掲載することが報告された。

4.その他の委員会

a) 公益法人対策委員会

・平成25年4月1日をもって移行することが、報告された。

・関係各方面に4月1日以降に通知をし、祝賀会を行う予定と報告された。

・次回の総会は、現法人での解散総会となる事が報告された。

・役員の改選は、総会3か月前に公示のため現法人で公示し、新法人で選出されることが確認された。

・県に相談したところ、3月の総会は現法人の選挙規定に則り行うものとするという細則をつけて決を取るようにする事をアドバイスされたと報告された。

・第49回理学療法士学会の進捗状況をこの会で、時々行うと報告された。

以 上

<p>結(ゆい)訪問看護ステーション 小田原市場之内194-4</p> <p>結</p> <p>地域リハビリテーションセンター 小田原市場之内253-1</p> <p>ふらっと</p> <p>児童テイサービス Well 予防専門テイサービス Well 小田原市久野469</p> <p>Well</p>	<p>http://business4.plala.or.jp/ashiriha</p> <p>在宅生活を支える</p> <p>足柄リハビリテーショングループ</p> <p>AR.S</p> <p>看護とリハビリテーション</p> <p>のことなら何でも</p> 	<p>看護師・PT・OT・ST</p> <p>募集</p> <p>＊-----＊</p> <p>医療・介護・自立支援法 地域支援事業など</p> <p>是非一度 見学にいらしてください！</p>
--	---	---

理事会報告

社団法人 神奈川県理学療法士会 2012年度第6回理事会報告

I. 日 時：9月18日（火） 19:00～21:30

II. 場 所：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事定数：15名

出席理事：秋田 裕、隆島研吾、炭 孝昭、林 克郎、坪内敬典、福島 努、大槻かおる、惣田 洋、相川浩一、久保雅昭、佐藤史子、露木昭彰、内田賢一

欠席理事：山口泰成、露木昭彰、小山理恵子

出席監事：井上 保

出席事務局員：小林和美

IV. 議長団選任

議 長：秋田 裕

副議長、議事録署名人は出席理事の互選にて以下のように選出された。

副 議 長：林 克郎

議事録署名人：隆島研吾、炭 孝昭

V. 配布資料

- ・第6回理事会議事案
- ・事務局：事務局理事会資料（ウェブサイト管理部報告、広報部報告）
- ・学術局：学術局理事会資料（本会研修会・講習会受講証の件（報告）、学術サークル助成（承認）、学術大会部報告、学術誌編集部報告（投稿規定の条件変更について（承認））、「技術と研究」分冊に伴う広告掲載について（承認）、学術講習部報告、臨床実習教育部報告、生涯学習部報告、第31回神奈川県病院学会「運営協力職員推薦」（承認））
- ・社会局：第6回理事会事業報告書、県医療専門職連合会（報告）、会員ライフサポート部報告、スポーツ支援・健康増進部事業報告、環境支援部事業報告、介護保険部報告、公益事業推進部報告
- ・組織強化委員会報告
- ・公益社団法人 神奈川県理学療法士会 選挙規定（附則修正案）
- ・社団法人日本理学療法士協会 懲戒規定
- ・第49回全国学会経過報告書
- ・関東甲信越ブロック協議会 開催地一覧

VI. 議事内容

(1) 会長挨拶・会長行動報告

- ・9月15日（土）、16日（日）に第31回関東甲信越ブロック士会長協議会に参加したことが報告された。
- ・第35回の学会は、神奈川が担当することが報告された。開催2年前には企画案を提出し、準備委員会を立ち上げることになることが報告があった。
- ・次回関東甲信越ブロック協議会の士会長会議は、神奈川が担当であり2月16日（土）15：00から本会事務所で行われることが報告された。次回以降開催地担当の東京・千葉・山梨の担当者が集まり行われる予定であ

ると報告された。その後懇親会が行われる。

- ・協議会の次期会長を秋田会長が、担当することが報告され、合わせて事務局も担当することが報告された。規約により任期は2年間。

(2) (公社) 神奈川県理学療法士会 選挙規定について

- ・来年4月1日に公益社団に移行登記することにより、役員の変更が来年6月に行われる事になり、総会の3か月前に公示を行うため、現法人で公示し新法人で選出されることが確認された。
- ・県に相談したところ、3月の総会は現法人の選挙規定に則り行うものとするという細則を追記して、総会で決を取るようにする事をアドバイスされたことと報告されたため、3月の総会で承認され次第、公示することが確認された。
- ・公益法人化に伴い今回の改選時期が、早くなったことと今後は協会の選挙のサイクルと同じになる事が確認された。

(3) 各局・部・委員会報告（承認）

1. 事務局

① 会員異動報告、入会者の承認

- ・前回理事会以降の入会30名が承認され、転入10名、転出8名、休会0名（継続）、復会0名、退会0名、県内異動33名があり、9月18日現在の会員数が3,739名であることが報告された。
- ・賛助会員は現在11社であることが報告された。

② 各種団体よりの依頼事項の件

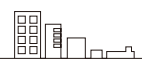
- ・神奈川県公衆衛生協会より第58回神奈川県公衆衛生学会への協賛広告の募集について例年通り広告を出すことが承認された。
- ・城下町おだわらツーデーマーチ実行委員会よりメディカルサポートスタッフの派遣について依頼があり承諾の回答をすることが、承認された。
- ・第31回神奈川県病院学会に係る運営協力について依頼があり、「運営協力職員」として鈴木智高氏と佐藤史子氏を推薦することが、承認された。
- ・第31回神奈川県病院学会に係る一般演題の座長の推薦について依頼があり、佐藤史子氏を推薦することが承認された。

③ 各部事業報告

a) ウェブサイト管理部

- ・HPリニューアル業者選定4社より見積提出され、「エス企画」と「マインドビジョン」の2社と打合せ、移行・運用・保守・費用を比較検討し、「マインドビジョン」に依頼することが報告され、承認された。今後の進捗に関しては、理事会で報告をしていくことが確認された。

b) 広報部



- ・2012年8月31日(金) 第3回 介護保険分野「リハセンターR-studio」で理学療法士インタビューが行なわれ、原稿の出来上がり待ちである事が報告された。
- ・現在、総合医療施設、訪問リハへの取材調整中であると報告された。

c) 総務部

- ・3月通常総会についての議長団等の手順について確認された。

④その他

- ・協会の懲戒規定運用について、前回理事会時に協会に確認してから対応することになっていたため林理事が確認したところ、現時点では会員個々に協会への報告することの周知がされていないため、今回は協会への報告は行わない事が報告され、会員への周知がされてから対応をする事が、確認された。
- ・本会のブロック化推進に関してブロック割りが、会員に対して周知が出来ていないのでニュース・HP・FAX通信を活用し、周知をする事が確認され、周知の文書を別途作成する事になった。
- ・2年ごとに作成していた本会の名簿が、作成されていないので作成する事が提案され、配布については希望施設とするため、名簿を希望している会員へどの様に周知をしていくかは、事務局預かりとなった。
- ・事務所にもう一回線の電話を引いたことが報告された。運用に関しては、事務局預かりとなった。

2.学術局

a) 学術サークル助成

申込15施設 横浜市北部学術サークルと西部学術サークルは1団体となったため決定は、14施設となり助成金額も決定し、承認された。

- ・昨年度に関して、条件を満たしていないところに対しては修正して対応済であると報告された。

①各部事業報告

a) 学術大会部

- ・30回神奈川県理学療法士学会の進捗状況について演題募集期間が9月15日から10月14日に延長された事が報告された。引き続き演題募集の協力をお願いしたと依頼があった。
- ・理学療法相談会の運営については、後日改めて依頼をする事が報告された。いきさつについては、議事録を再度確認して次回の理事会で報告することが確認された。
- ・学会誌の表紙デザインが3種類の中から決定した事が、報告された。
- ・震災企画（はまっ子どうしチャリティ販売）横浜市水道局から寄付金確保に協力したいとの(県

内配送無料)申し出があったことが報告された。

本会イベント等での活用予定があれば相談してほしいと依頼があった。周知の仕方を検討することが、確認された。

b) 学術誌編集部・査読委員会

- ・学術誌 投稿規定の変更について前回の理事会で一部修正後され、承認された。
- ・「技術と研究」分冊に伴う広告掲載について、「学術大会抄録集」には広告掲載を行わない事が報告された。

c) 学術講習部

- ・部員が、体調不良ため交代することが報告された。
- ・平成24年度講習会の進捗状況が報告された。
- ・9月30日(日)に開催予定の第1回講習会が昭和大学藤が丘病院で行われる予定であるが、その際は入退室管理システムで受付を行う予定であることが報告された。
- ・平成25年2月17日(日)に開催予定の第4回講習会が、横浜市総合リハビリテーションセンターで行われることが報告された。

d) 臨床実習教育部

- ・9月9日(日)開催の第1回研修会「ケーススタディ実習指導」が町田市文化交流センターで開催された事が報告された。今回より修了証書を発行した。
- ・第2回研修会が、平成25年1月28日(日)13:00～16:00にウィリング横浜で開催予定であると報告された。

e) 生涯学習部

- ・9月9日(日)に横浜市教育会館にて「第2回新人教育プログラム研修会」が開催予定された事が報告された。参加者は489名、内本会外の会員が60余名であり本会会員に対してのサービス面からすると、対応を検討する必要があると報告された。今回の研修会よりPCによる入退室管理システムを導入した事が報告された。終了時、カードの受取りを忘れた会員が2名、他人のカードを誤って持ち帰った会員が1名いたが全て持ち主に返却された。
- ・現状の領収書であれば、再発行は不可とする事が確認された。
- ・会計事務所に相談し、領収書のフォーマットの変更を検討する必要があると確認された。
- ・運用に関しても、カードを受取らない方法も検討が必要であると報告された。
- ・受講申込出来なかった会員に対して、追加で第4回研修会を平成25年3月24日(日)に神奈川県立保健

理事会報告

福祉大学講堂で開催する予定であると報告された。第2回、第3回のテーマの中から5テーマを抜粋して実施する予定であると報告された。

年度末に開催するため近隣の士会からの申込が増加する可能性があるため、本会会員に限定する事を明示することが承認された。ニュース等でも先行する。

- ・本会主催のセミナー・研修会等の新プロ単位・履修ポイントの設定について各部より依頼があり、逐次進めていく予定であると報告された。

- ・8月31日(金)に開催された、関プロ新人担当者会議の報告がされた。

履修単位がマイページに反映されない事が、議題になり協会より新システムの稼働が思うように進んでいない事で、反映されるまでに2～3か月かかると報告された。

- ・協会より、各士会開催の新プロ研修会には他士会の会員も積極的に受け入れて欲しいと要望があった事が報告された。

- ・入退室管理システムについて

今後、各部会で開催する会員対象のセミナー・研修会でもPC受付で行う事が報告された事が報告された。

生涯学習部で購入したPC6台は、事務局管理となりPC貸出も行う事が報告された。

操作方法等は、別途案内をすることが報告された。

②その他

- ・修了証書は、9月9日(日)開催の臨床実習教育部主催研修会から発行を開始した事が報告された。

- ・第31回神奈川県病院学会について「運営協力職員推薦」の依頼があり、鈴木智高氏(神奈川立保健福祉大学)、佐藤史子(横浜市総合リハビリテーションセンター)を推薦することが承認された。

- ・第31回神奈川県病院学会に係る一般演題の座長の推薦の依頼があり、佐藤史子(横浜市総合リハビリテーションセンター)を推薦することが承認された。

3.社会局

①医療専門職連合会からの報告

- ・10月19日(金)横浜イーストスクエア3階 中外製薬(株)横浜支店会議室にて開催される予定だと報告された。

- ・11月3(土)、4日(日)臨床検査技師会首都圏学会ブース出展予定であると報告された。

本会からは、パンフレット配布予定であり、連合会費用である。

- ・湘南国際マラソン

連合会への後援依頼があった事が報告された。

本会も来年度事業として、メディカルサポートに参入する方向で調整することが承認された。

- ・会報の次号の原稿依頼について、本会の9月号のニュースに同封した事が報告された。

次回原稿依頼「人材育成」を学術局へ依頼したことが報告された。別途説明をする。

②各部事業報告

a) 会員ライフサポート部

- ・理学療法ジャーナル11月号掲載原稿が報告された。何かあれば今週中に連絡をして欲しい。

- ・欠員していた部員の補充に西山昌秀氏が報告された。

b) スポーツ支援・健康増進部

- ・第14回城下町小田原ツデーマーチ実行委員会より、「メディカルサポートスタッフの派遣について」依頼があった事が報告された。

募集をかけ、派遣することが承認された。

- ・スポーツ傷害セミナーについての報告がされた。

- ・10月24日(水) 第3回スポーツ理学療法講習会が、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院で平成25年1月11日(金) 第4回スポーツ理学療法講習会が、東芝林間病院で行われることが報告された。

- ・関東甲信越スポーツメディカルサポート連絡会議が、行われたことが報告された。

- ・3月3日(日)第30回神奈川県理学療法学会で、サッカー協会での事業支援活動について、発表予定であると報告された。

- ・神奈川県サッカーU16・15トレセンチームに対するメディカルサポート事業が本年度は神奈川県サッカー協会より依頼の公文書が発行されなかったため事業を中止した事が報告された。

c) 環境支援部

- ・12月1日(日)、16日(日)PT・OT福祉用具スキルアップ研修会基礎編をウィリング横浜で開催する予定であると報告された。

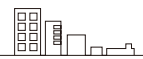
- ・8月5日(日)、26日(日)PT・OT福祉用具スキルアップ研修会 上級編が開催されたことが報告された。募集人数全体で40人対し、PT11名、OT7名であった事が報告された。

来年度は、全体で20名に変更することが報告された。

d) 介護保険部

- ・在宅医ネットよこはまより、後援依頼があった事が報告された。次回理事会までに後援依頼の用紙に記入をする事が、確認された。

- ・8月18日(土)、19日(日)に第3回訪問リハビリテー



ション実務者研修会が、横浜リハビリテーション専門学校で行われたことが報告された。

- ・9月6日(木)、7日(金)に第3回訪問リハ・地域リーダー会議に神奈川県代表として推薦を受けた各士会4名が参加したことが報告された。内、本会からは、相川浩一氏と久保木あずみ氏が参加。

リハビリテーション三団体協議会の下部の組織として全国訪問リハビリテーション振興委員会を設置し、制度化に向けた取組みを行う。次回の理事会で資料を用意することとなった。

- ・研修会実績報告
- ・今後の実務者研修会の内容の検討
- ・10月21日(日)に介護保険関連理学療法士会 実務者研修会が、横浜ワールドポーターズで開催予定であると報告された。

e) 公益事業推進部

- ・7月27日～7月28日にパシフィコ横浜でヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2012にブース参加し、ポスターの掲示、パネルの展示、動画の上映、理学療法相談、配布物の配布を行った事が報告された。

Y O T E C 来場者数1,5651名、ブース来場者200名だったことが報告された。

- ・社会局イベントカレンダーの作成し、会員施設・保健センター・包括支援センター等役1,000ヶ所配布したことが報告された。

- ・本会リーフレット不足分の増刷700枚を行ったと報告があった。

- ・7月22日(日)に公開セミナー 藤沢市民会館 第2展示集会ホールで、行われたことが報告された。

- ・7月8日(日)に公開講座 介護予防キャラバンがミューザ川崎シンフォニーホールで行われたことが報告された。

- ・6月10日(日)に公共スペースでのキャンペーン「転倒予防」が、新都市プラザで行われたことが報告された。

その時期のテーマに沿ったキャンペーンを行う事で、集客率にもつながる事が確認された。

- ・8月1日(水)から31日(金)に理学療法見学会が、それぞれの施設で行われたことが報告された。

- ・7月1日(日)から8月31日(金)に理学療法普及啓発キャンペーンを行った事が報告された。

- ・9月4日(火)に第1回ブロック代表委員会会議が行われた事が報告された。

- ・ブロック代表委員会、組織改編との今後の展望 組織強化委員会並びにブロック代表会議について意見交換が行われた。

- ・各ブロック代表よりの活動報告を9月20日までに提出事になった事が報告された。

- ・サークル訪問活動について、普及啓発のための周知方法の検討が報告された。

- ・神奈川県総合リハビリテーション事業団より、情報提供のお願いと事業への提案があった事が報告された。

- ・11月17日(土)に横浜リハビリテーション専門学校で研修会開催予定であると報告され、詳細はHPへの掲載する予定であると報告され、承認された。

テーマは、届出医療について

b) 第49回日本理学療法学会

- ・第47回神戸大会を視察し、宣伝用のポケットティッシュを2日間で3,000個配布した。

- ・学会大会運営業者がコンベンションアカデミアに決定した。

- ・パシフィコ横浜と今年中に契約し、契約金として会場費の3割を支払う。

- ・学術企画に関して検討中である。

c) その他

- ・本会の中での動き方として、震災等に迅速に対応するためにも、来年度事業に向けて調査等をするために何人かで立ち上げを行う事が報告され承認された。

- ・HPの主催の表記が、統一されていないで整合性を確認する様に提案された。

- ・本会から11項目の要望を提出した件で話をしたいという事で8月28日(火)に協会半田会長と井上監事と一緒に話し合いが行われた事が報告された。

要望の回答については、別途連絡されることが報告された。

- ・10月21日(日)に中間監査が10:00から行われることが報告された。


各部委員会の対応へ依頼された。

以上

4.その他の委員会

a) 組織強化委員会





ちよいんと

「理学療法士と 患者家族の立場から」

私は市ヶ尾カリヨン病院という急性期病棟60床、回復期病棟60床、計120床の病院で勤務しており、主に回復期病棟の患者様を担当させて

頂いています。現在、学校を卒業し2年半が経ったところです。学生時代、先生から「3年目まではあつという間だよ」と、よく言われていましたが、その言葉の意味をとんでも痛感しているところです。今回、ちよいんと

の原稿を書かせて頂く機会を与えて頂いたので、この場をおかりして、自分自身の体験とそこから気づき、感じていることを記載させて頂きます。

私の母は、私が大学4年生の頃にクモ膜下出血で倒れました。幸いにも母が気分不快感を訴えた際に、私は近くに居合わせたので早急に対応することができました。しかし、命は助かったものの脳梗塞を多数発症し、発語困難となり、基本動作全介助レベルの運動麻痺を患ってしまいました。

学生の私は、母の年齢が若いことや発症前のADLが全自立であったこと、主治医の先生から「歩けるようになるかもしれない」と言われたことなどから運動機能レベルが向上すると期待しました。急性期病院から回復期病院へ転院した際にも、担当の看護師さんから家族のHOPEを尋ねられ、「歩けるようになってほしい」と答えたことをよく覚えています。いま思い返すと、専門家の卵として到底無理なことを言っていた自分を恥ずかしく思います。しかし、あの時は先生から言って頂いた一言だけを頼りに、母に早く歩けるようになってほしいと願っていました。時折、私のように担当の患者様・ご家族様が現実的ではないHOPEをおっしゃられることがあります。しかし専門的な知識がなく、病気や怪我を発症することが初めてであれば、今後どの程度の回復が見込めるのかわからないのは当たり前のことだと思います。だからこそ、私たちセラピストはその期待と現実のギャップを徐々に認識して頂きながら、今後必要となる介護や社会的資源についての情報提供を行い、退院までリハビリへのモチベーションを維持できるよう関わっていかねばならないと思うようになりました。自分自身の経験を通して、ご家族様は医療従事者の言葉を鵠呑みにするだけでなく、時に異なった解釈をする可能性があること。また期待も不安も抱きやすいために、その言葉に重大な責任を持つこと。さらに、その言い方にも十分な配慮や注意が必要なことに気付かされました。

入院中、つい数日前まで普通の生活をしてきた母が、ずつ

と若いスタッフの方に子供を相手にしているかのような口調で声がけをされている姿を見て、違和感と不快感を覚えました。患者の親族として、病院のスタッフは強く自己主張をできない母のことを無意識のうちに弱者・立場の低い人として接してしまっているのではないかと思いました。私自身、その様子を見ていて腹立たしい気持ちになりましたが、自分が面会に来ていない時に精力的に関わって頂ける病棟のスタッフのことや、私が苦言することで母への接し方が煩雑になるのではないかと懸念から何も言うことができませんでした。でも、いま思えば、私と同じように感じるご家族の方は他にもたくさんいらっしゃるのではと思うようになりました。この経験から、患者様のご家族との関わり方には最大限の配慮を意識して接するようにしています。

他にも目を向けなければならないのが、入院期間中には毎日の入院費が発生していることです。リハビリスタッフは金銭の授受に直接に携わることがないので、お金のことを気にしながら診療に取り組んでいるスタッフはあまりいないかもしれませぬ。しかし、金銭のやりとりが見えないからこそ、高い入院費と診療費を頂いているという認識を自身で持ちながら1度の診療に緊張感を持って介入しなければならないと思います。若いセラピストは知識が少なく、また臨床経験が少ないことで自分ができることに限りがある場合もみられます。しかしその時にも、自身のできる精一杯のことを提供する必要があります。その姿を見て患者様・ご家族様も何かを感じ取り、提供したリハビリの内容に納得して下さると思います。この場をおかりして母の病気・入院を通して感じた患者様との関わり方と診療に対する緊張感・責任に対して記載させて頂きました。この原稿を読んでいる方の中には上記の内容について極めて基本的なことであり、改めて話す内容ではないと感じられている方も多いと思います。その一方で、少しずつ診療に慣れてくる中で臨床に出たばかりの頃の緊張感が少しずつなくなり、コミュニケーションの取り方が友達感覚に近い形になっている方や、スキルアップへのモチベーションが低下している人もいらっしゃるのではないのでしょうか。私自身もこの原稿を書きながら、医療人・技術職としての立場を再度自覚し、身が引き締まる思いです。この原稿を通して、患者様の家族という視点から自分自身を客観的にみつめ、今後の理学療法士としての在り方を再度、見つめ直すきっかけとなれば幸いです。

市ヶ尾カリヨン病院 リハビリテーション科 坂田百華里

解剖 こぼれ 話

続・解剖学と解剖学用語 —用語の読み方—

解剖学用語は膨大な数にのぼります。わが国の解剖学用語はかの杉田玄白や大槻玄沢の江戸時代にすでに整えられていたようです。

現在は「解剖学用語 改訂13版」(医学書院)にまとめられています。

解剖学用語の読みは基本的には音読みです。このことについては本ニュースNo.247に書きました。しかし、音読みではなく、訓読みを薦める読み方もあります。例えば、なじみがないかもしれませんが十二指腸縦(タテ)ヒダ、肝鎌(カマ)状間膜や蔓(ツル)状静脈叢などがあります。また読みが複数通りある場合があります。筋が弛緩する。「弛緩」をどう読みますか。「シカン」、「チカン」、どちら

で読みますか。解剖学用語改訂12版では“読む人にまかせる”とあいまいな表現になっています。13版では両方のルビを併記してあります。つまりどちらでも正しいということになります。

さらに読みを指定しているものがあります。方向を表す用語で「内側」と「外側」があります。内側側副靭帯、外側側副靭帯などですね。これは必ず「ナイソク…」「ガイソク…」と読み、「ウチガワ」「ソトガワ」とは読まない用語です。これは「内側」と「外側」は2点の内で正中面に近いほうを内側、遠い方を外側と規定する用語であり、部屋の「ウチ(内)」と「ソト(外)」では意味が違ってしまいます。

前回は“自分の体に置き換えて用語に親しもう”と書きました。さらに、表す意味を考えながら読んでいけば、難解な解剖学用語とも親しくなれるのではないのでしょうか。

昭和大学保健医療学部 解剖学 伊藤 純治
神奈川県立保健福祉大学 解剖学 柴田 昌和

い本みつけ。

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか

著者／近藤克則 ●医学書院

だいぶ前に海外の文献を読んだ時、対象者の基本情報・属性欄に、所得や資産、教育年齢、同居者の有無、結婚歴や離婚歴、持ち家なのか、等々の項目があるのを見て、基本情報と言いつづいぶん突っ込んだことを聞くんだけ、外国の人ってそういうこと聞いた事聞かれたりするの気にしないのか、すごいな!と思った覚えがある…今わ

かるのは、これらの項目は社会人口学的特性や人口統計学的特性というもので例えばある疾患を持つ人達の客観的な特性を調べる疫学研究などを行う際に調査する項目であるということ。特に外国の人がすごいから聞いているわけではないということ。

この本は、上記のような要因(本書では社会経済的要因としている)が



健康にどのように影響しているのかを様々な疫学調査を紹介しつつ、解説している。例えば8章の「病は気からはどこまで実証されているか」などは、多くの先行研究から自分の健康状態を

「健康だ」と思っている主観的健康観が、客観的な指標と比較しても生命予後の重要な予測因子であることなどが紹介されている。

内容も読みやすく量もコンパクトで、公衆衛生・保健領域や疫学的調査に興味がある方には入門書としても面白い本だと思います。疫学調査を行って健康格差を検証したという、この本の続編のような本も発行されています。

昭和大学保健医療学部 稲葉康子

求人案内

「復職支援実務研修」の受講者募集中!!

(詳しくはホームページをご覧ください)

離職中の会員を対象に、5日間の実務研修を行っています。

- 目的:** 実際の臨床を通して、復職への不安を解消すること
研修施設: ご希望の地域、職域(回復期など)をお知らせください(要相談)
研修期間: 平成25年3月31日までの5日間(要相談)
申込期限: 平成25年2月28日
参加費: 5,000円
申込先: lifesupport@pt-kanagawa.or.jp(会員ライフサポート部 寺尾)までメールして下さい

医療法人孝和会 介護老人保健施設 能見台パトリア

理学療法士募集

他職種協働にて利用者の在宅復帰支援及びQOLの向上を目指しています。

笑顔あふれる職場で働きませんか!

- 募集人数:** 常勤 非常勤(週3日以上土曜日勤務できる方)若干名
資格: 有資格者(3年以上経験者・主任候補優遇)
勤務内容: 老健及び通リハ利用者に対する評価とリハ計画の作成、専門的リハの提供、他職種も含めて実践する生活機能向上プログラムの指導
勤務時間: 8:30~17:30
休日: 週休2日制、年末年始休暇、年間117日(シフト制)
待遇: 法人規程により優遇
 社会保険完備・有給休暇
 交通費支給(法人規程による)
勤務地: 横浜市金沢区能見台東10-1
 京浜急行線「能見台」駅徒歩8分
施設概要: 老健入所定員150名
 (一般65・軽度認知45・認知40)、通リハ定員40名
応募方法: 電話にて面接日程調整
 (面接時:履歴書・職務経歴書持参)
連絡先: TEL:045-790-5733
担当: 総務 佐々木
メールアドレス: tsasaki155@lake.ocn.ne.jp
URL: http://www6.ocn.ne.jp/~kowakai/

ベネッセの有料老人ホーム ボンセジュール武蔵新城

理学療法士募集

ベネッセスタイルケアが運営しているホームにて、ご入居者様への機能評価や個別リハビリプログラムの作成していただき、実際に個別リハビリ、集合理ハビリなどを行っていただきます。

また、リハビリや健康体操のマニュアル作成や介護用品の選定もお願いします。

★有料老人ホームでの機能訓練業務のやりがい

病院などの医療機関とはまた違い、治療ではなく「生活の質の向上」に視点をもっていくため、ご入居者様の人生に長く携われることで、その時々合わせた支援をすることが出来ます。

募集人数: 非常勤(パート) 1名

資格: 理学療法士の資格免許をお持ちで経験1年程度
 ・高齢者のリハビリ(各高齢者施設や訪問リハ等)経験のある方歓迎

勤務内容: 1.ご入居者に対する以下のサービス提供

- (1) 入居時の機能評価
- (2) 個別・集団リハビリプログラムの作成
- (3) 個別リハ
- (4) 集団リハ
- (5) リハ、健康体操マニュアル作成
- (6) 介護用品の選定(相談による)

2.スタッフとの連携

- (1) スタッフへの日常リハの送り
- (2) トランスなどのスタッフ指導
- (3) ミーティングでの指導

勤務時間: 9:00~18:00(実働8時間)、週1日

※曜日応相談

休日: 勤務日以外

待遇: 【時給】2,200円

交通費全額支給、有給休暇、進研ゼミ3割引制度あり

勤務地: JR線南武線「武蔵新城駅」南口下車、徒歩13分

応募方法: 下記送付先住所へ、①ご希望の勤務地と②職歴(担当した科迄)を明記した履歴書を送付してください。

【履歴書送付先】

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷2-17-5 シオノギ渋谷ビル9階

株式会社ベネッセスタイルケア 佐藤宛

※応募書類は返却できかねますので、予めご了承ください。

連絡先: TEL:0120-484-174(10:00~18:00平日のみ)

※12/29~1/3休業)

担当: 佐藤

メールアドレス: nsptot@benesse-style-care.co.jp

URL: http://saiyo.benesse-style-care.co.jp/kango/

求人案内

ヒューマンライフケア横浜

理学療法士募集

ヒューマンライフケア横浜は、「自分や自分の家族が受けた
いケアサービスの実践」を基本理念とし、地域に根差した施
設として平成9年からサービスを開始しています。

当施設では、個々の利用者様に応じた専門的リハビリを提
供し、早期にご家庭への復帰が可能になることを目的として
います。

募集人数：3人、非常勤は応相談

資格：有資格者

勤務内容：介護老人保健施設におけるリハビリ業務

勤務時間：9：00～17：30

休日：4週8休シフト制、シフトは希望を考慮の上、決
定します

年間休日110日 慶弔その他特別休暇については
施設規定に準じます

待遇：基本給、調整手当は規定によります（経験等によ
り優遇）

各種社会保険完備、有給休暇
交通費支給（施設規定による）

昇給・賞与有、退職金制度有、マイカー通勤可

勤務地：〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町1800-3

JR「戸塚駅」西口バスセンターより戸塚台下車徒
歩2分

概要：132床（一般102床、認知症病棟30床）

通所リハビリテーション40名、短期療養介護

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付ください

※応募書類は返却できかねますので、予めご了承
ください

連絡先：〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町1800-3

TEL：045-866-2000 FAX：045-870-1565

担当：事務部 林

メールアドレス：hlc-y@d7.dion.ne.jp

URL：http://www.tmg.or.jp/humanlifecare

訪問看護リハビリステーションホーム

理学療法士募集

9月に立ち上げた、20代、30代のスタッフが中心に運営して
いる事業所で、全スタッフ垣根なくコミュニケーションを取
ることができ、些細なことでも相談できる事業所です。最初
は仕事ができるまで研修や同行訪問など行います。是非、ご
応募お待ちしております。

募集人数：2～3人

資格：有資格者

勤務内容：訪問リハビリ業務

勤務時間：常勤9：00～18：00 非常勤 応相談

休日：土、日、祝 年末年始、夏季休暇

待遇：月額26万円+インセンティブ5万円～

年収例540万円（月給+インセンティブ+賞与年
3ヵ月）

賞与年3回、社保完備、交通費全額支給、研修期間有

勤務地：〒222-0001

横浜市港北区樽町1-30-17

スペースメロディビル4階

「綱島駅」徒歩10分

概要：訪問看護業務、訪問リハビリ業務、スタッフ数7名

応募方法：まずはお電話にてお問い合わせ下さい。

連絡先：TEL：045-642-5721

担当：事務長 田中

介護老人保健施設 リバーイースト

理学療法士募集

ご自宅での生活に不安のある高齢者の方が、家庭復帰のため
に心身機能の回復・維持を図る施設として施設サービスから
在宅サービスまで、利用者本位のサービス創造を目指します。
入所90床、通所38名

募集人数：常勤 若干名

資格：有資格者

勤務内容：施設利用者に対するリハビリテーションに関すること

勤務時間：常 勤：8：30～17：00

休日：週休2日制（日曜ほか1日）

待遇：基本給、その他手当等は規程による。社会保険完
備、退職金制度有り。

勤務地：小田原市永塚344-1

（JR御殿場線「下蘇我」徒歩約10分）

概要：随時募集

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付

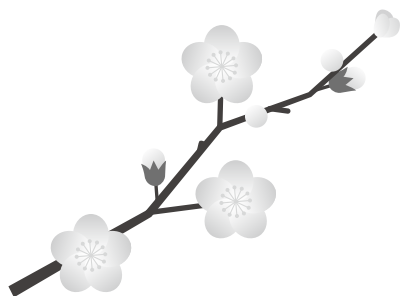
連絡先：〒250-0214 小田原市永塚344-1

介護老人保健施設リバーイースト

担当：時松（トキマツ）

メールアドレス：cbd01785@nifty.com

URL：http://www.soga-hp.com/



求人案内

社団法人秦野伊勢原医師会 秦野在宅ケアセンター

理学療法士（正職員）/理学療法士（パート）募集

医師会立の当秦野在宅ケアセンターは、医師との密接な連携のもとに「訪問看護（訪問リハ含む）」・「訪問介護」・「居宅介護支援」・「包括支援」の各部署から成り立っており、各部署間においても連携をとりながら、サービスを提供している。

<正職員> 社会保険及び労災保険加入・通勤交通費実費支給・事業車両有・人間ドック補助・扶養手当・退職金制度・時間外手当別途・携帯電話手当有・昇給有

<パート> 労災保険加入・通勤交通費実費支給・事業車両有・携帯電話手当有・昇給有

募集人数：若干名

資格：理学療法士・自動車普通免許（AT限定可）

勤務内容：訪問リハ（秦野市内）

勤務時間：9：00～17：30（1ヵ月変形労働時間制）

休日：日曜、祝祭日、年末年始、夏季休暇、土曜日（原則3日～2.5日/月）

※パートは勤務時間、曜日応相談

待遇：正職員：基本給：244,650円～294,525円（経験考慮）
賞与：基本給×5ヵ月（昨年実績）

パート：時給1,680円～1,980円/時間

※正職員・パートいずれも勤務開始日応相談（H25,4月可）

勤務地：秦野市曽屋11番地

概要：医師会立の在宅ケアセンター内での仕事

応募方法：電話連絡の上、履歴書・職務経歴書・資格証持参

連絡先：TEL：0463（81）0996

担当：事務局：渋谷 祐子

メールアドレス：h-isikai@tc5.so-net.ne.jp

URL：http://hadanoisehara-med.or.jp/index.html

医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院

理学療法士募集

横浜市西部に位置する当院は、急性期～回復期、在宅医療まで展開しており、地域住民のライフサイクル期に合わせて機能する、病床数515床の『横浜市最大級』の民間総合病院です。現在、『脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）』『運動器リハビリテーション料（Ⅰ）』『呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）』『回復期リハビリテーション病棟入院料1』の施設基準を習得しており、幅広く学ぶ環境が整っております。

募集人数：2名

資格：理学療法士免許取得者

勤務内容：脳血管疾患、整形外科疾患、内部障害に対する理学療法

勤務時間：8：30～17：30

休日：日・祝日を含む月/9日～10日

待遇：¥240,000～（各種手当含む）

勤務地：JR横浜線『十日市場』駅下車 バス15分

東急田園都市線『長津田』駅下車 バス15分

相鉄線『三ツ境』駅下車 バス20分

※バス→『若葉台中央』行き終点下車 徒歩1分

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付

連絡先：〒241-0801 横浜市旭区若葉台4-20-1

TEL：045-921-6161（総務課直通）

FAX：045-921-4931

担当：総務課（人事担当）牛久・橋本

メールアドレス：jinji@asahi-hp.jp

URL：http://www.ims.gr.jp/asahi-hp/

介護老人保健施設グリーンヒルズ相模原

理学療法士募集

募集人数：若干名

資格：理学療法士

勤務内容：入所者及び通所利用者の理学療法業務

勤務時間：9：00～17：30

休日：シフト制による（夏休み、年末年始、有給休暇あり）年間休日数112日

待遇：常勤 ¥238,000～ 賞与/年2回

勤務地：神奈川県相模原市緑区大島1583-1

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を持参

連絡先：TEL：042-760-5600

担当：高杉

メールアドレス：med-koyu@ec3.technowave.ne.jp

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院リハビリテーション部

理学療法士、作業療法士募集

募集人数：非常勤 若干名

資格：有資格者

勤務時間：8：30～17：00（応相談）

休日：土日、祝日

待遇：時給 1,400円

勤務地：「三ツ境駅」から徒歩で約12分（1km）、

バスで3つ目「西部病院前」下車

応募方法：電話連絡

連絡先：〒241-0811 横浜市旭区矢指町1197-1

TEL：045-366-1111 PHS：8399

担当：リハビリテーション部 畠山

メールアドレス：m.hatakeyama@marianna-u.ac.jp

求人案内

ケアーズ久里浜 訪問看護リハビリステーション

理学療法士募集

2013年2月1日に京急北久里浜に訪問看護リハビリステーションがオープンします(当グループ 4事業所目) 常勤、非常勤(土日のみ、週1日のみ可) オープニングメンバー募集します。

募集人数：2名

資格：理学療法士

勤務内容：訪問リハビリ

勤務時間：9:00～18:00

休日：土日 祝日 夏休み 年末年始 有給あり

待遇：常勤平均年収 600万円以上 当社規定による
非常勤1H=4,000円(土日勤務可)

勤務地：横須賀市根岸町3-7-9 プランナーズビル2F
(京急「北久里浜駅」徒歩4分)

概要：研修制度あり。責任者・管理職への道あり。

応募方法：まずはお電話を!

連絡先：TEL：080-8709-9389

担当：後藤・朝日

メールアドレス：t-asahi@towa-cast.net

URL：http://towa-cast.com/company

社団法人鶴見メディカルセンター訪問看護ステーション

理学療法士・作業療法士募集

鶴見区医師会が母体の安定した事業所です。現在、区内に訪問看護ステーション3ヶ所と居宅介護支援事業所があります。利用者のニーズに応える為、訪問看護の中でリハビリを訪問看護師と連携を取りながら行っております。和気あいあいとした職場で働きませんか?在宅療養に興味があり、やる気のある方の応募をお待ちしています。

募集人数：各職種 常勤1名

資格：有資格者

勤務内容：在宅療養をされている方へのリハビリ提供

勤務時間：9:00～17:00

休日：土日・祭日 年末年始(12/29～1/3) 夏季休暇

待遇：基本給、調整手当は、規程による。

社会保険完備、有給休暇あり。交通費全額支給

勤務地：横浜市鶴見区鶴見中央

(JR鶴見駅徒歩3分・京急鶴見駅徒歩1分)

概要：鶴見区休日急患診療所と同じ建物にあり。

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付

連絡先：〒230-0051

横浜市鶴見区鶴見中央4-21-3

鶴見区休日急患診療所内

TEL：045-503-1265 FAX：045-503-1266

担当：栗原

メールアドレス：marron@sawayaka-tsurumi.jp

URL：http://www.sawayaka-tsurumi.jp/



あなたのニーズをかたちにします
義肢・装具・車いす・座位保持装置etc



(有)木村義肢工作研究所

〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号

TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560

求人案内

やしの木クリニック 通所リハビリテーション

理学療法士募集

和気あいあい、愛される通所リハビリテーションを目指しています。向上心あふれる多くの利用者の皆様があなたの力を必要としています。

募集人数：常勤 非常勤 若干名

資格：有資格者

勤務内容：通所リハビリテーション内での個別リハ、リハビリ指導等

勤務時間：常 勤：8：30～17：30

非常勤：応相談（週1回～5日）

休日：4週8休、会社カレンダーによる 勤務表で指定

待遇：基本給等は、規程による。社会保険完備、有給休暇有り。

勤務地：鶴見駅よりバス 鶴見総合高校前下車目の前・バスの本数多し

概要：クリニックに併設された通所リハビリテーションでの勤務です。

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付

連絡先：〒230-0031 横浜市鶴見区平安町2-28-1

ヨコハマアイランドガーデン1F

TEL：045-500-1184 FAX：045-500-1194

担当：事務 星野

メールアドレス：yashinoki@fureai-g.or.jp

URL：http://www.fureai-g.or.jp/yashinoki/

レストア川崎

理学療法士、作業療法士募集

PT、OTの垣根はなく、協力し最善のサービスを提供できるよう日々取り組んでいます。ご利用者の年齢や疾患、生活環境が多様化し、屋外や居室など早期実生活復帰を意識した個別訓練を実施しています。

募集人数：若干名

資格：有資格者

勤務内容：施設入所と通所リハビリ利用者に対するリハビリ

勤務時間：8：30～17：30

休日：週休2日制（日曜日と他1日）、年末年始休暇

待遇：法人規定による（経験者優遇）、有給休暇あり、賞与年2回、社会保険完備、交通費全額支給、住宅手当等

勤務地：東急田園都市線「たまプラーザ駅」

たまプラーザ駅から送迎バスあり

概要：入所150床（一般棟100床、認知棟50床）、通所リハビリ定員50名

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付

連絡先：〒216-0011 川崎市宮前区犬蔵2丁目25-9

TEL：044-976-7111（代）

担当：リハビリ科 藤井

メールアドレス：rk-zimu@hanasakikai.or.jp

URL：http://www.hanasakikai.or.jp



MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS

義肢・装具・車椅子・座位保持・住宅改造

SP-i

(有)湘南義肢研究所

時代のニーズに合わせた義肢・装具づくり

例えば、金属支柱付靴型下肢装具を

一枚の皮から全てフルオーダーで作り上げます。

納期は最短一週間。我々はそういう会社です。

横須賀市小川町27

tel 046-822-6722

fax 046-822-6425

http://sp-i.co.jp

求人案内

伊勢原たかはし整形外科

理学療法士募集

平成20年に開業した整形外科で、リハビリ室は3名の理学療法士が在籍しています。運動器疾患、特に脊椎の疾患とスポーツ傷害のある外来患者様に対し、疼痛緩和、機能回復、自己管理指導を行っています。土曜半日勤務で、臨床経験豊富な指導者が在籍しており、研修会・学会参加の補助もあります。外来を未経験の方でも応募をお待ちしています。

募集人数：常勤 非常勤 若干名

資格：有資格者

勤務内容：外来患者への運動器リハビリテーション業務

勤務時間：常 勤：8：30～18：30
非常勤：応相談

休日：祭日を含む週休2日、土曜日半日勤務、年末年始、夏期休暇

待遇：月給210,000円～280,000円（諸手当込み）
社会保険完備、有給休暇有り。
交通費全額支給（上限有り）。

勤務地：小田急小田原線「伊勢原」駅下車 バス4分

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付

連絡先：〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目3-13-28
TEL：0463-90-2422 FAX：0463-90-2421

担当：院長 高橋

メールアドレス：takahashi-seikei@hotmail.co.jp

URL：http://www.takahashi-seikei.com/

神奈川県立足柄上病院

理学療法士募集

神奈川県足柄上郡松田町にある地域医療の中心となる総合病院です。地域の特徴として高齢者が比較的多くいますが、子どもから大人までのさまざまな医療ニーズに応えています。仕事にブランクのある方も復職しやすいように相談させていただきます。

募集人数：契約職員 若干名

資格：理学療法士免許 有資格者

勤務内容：入院および外来患者の理学療法

勤務時間：8：30～17：15

休日：土・日曜日 祝日 年末年始休暇 夏季休暇

待遇：基本給、地域手当の他、通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外手当、期末勤勉手当（年2回）など条件に応じて支給、福利厚生、社会保険、厚生年金、雇用保険、各種休暇制度あり
（給与額は神奈川県立病院機構規定による）

勤務地：小田急線「新松田駅」より徒歩7分

概要：PT4名、マッサージ師1名、OT2名
中枢疾患、整形外科疾患そして内科疾患の患者さんの治療に携わっています。

応募方法：履歴書、理学療法士免許の写し（A4サイズに縮小）を郵送または持参

連絡先：〒258-0003

神奈川県足柄上郡松田町松田惣領866-1
TEL：0465-83-0351 FAX：0465-82-5377

担当：小木曾（おぎぞ）

メールアドレス：rehabili-01@ashigarakami-hospital.jp

URL：http://ashigarakami.kanagawa-pho.jp/

求人情報はホームページでも確認できます。

http://www.pt-kanagawa.or.jp/members/recruit2/

やさしさと、医療を科学する...
MINATO **NEW**

最新のレーザー治療 ソフトレーザー
SOFTLASERY JQ-W1

いつでも、どこへでも。
あらゆる場所で活躍する（コードレス型）レーザー治療機。

高い疼痛緩和効果を発揮する
LLLT（低出力レーザー治療）
LLLT(Low Level Laser Therapy) 低出力レーザー治療には、神経伝達の抑制、血液の改善、肌炎症などの作用が期待されます。治療中の痛みがなく、感度が高く、高い疼痛緩和効果を発揮する治療法として注目されています。

GOOD DESIGN
2011年度グッドデザイン賞受賞

新運動負荷モニタリングシステム
MOBILE AEROMONITOR AE-100i
モバイルエアロモニタリングシステム

高精度+携帯性

- 1 心臓や呼吸器のリハビリテーション、正確な運動負荷量が処方できます
- 2 ストップ 酸素摂取量を現場で測定できます
- 3 呼吸器や/循環器等、適正な酸素エネルギーが決められます

ミナト医科学株式会社
URL: http://www.minato-med.co.jp/

横浜営業所 TEL 045(560)3710 〒223-0061 神奈川県横浜市港北区白百合7丁目13番1号 FAX 045(563)3714

編集後記

新年おめでとうございます。ニュース編集部から、謹んで年頭のご祝辞を申し上げます。旧年中はニュース編集に至らぬことも多々ございましたが、気を引き締め、お詫びなきように取り組んで参ります。皆様、2013年も何卒よろしく願い申し上げます。ミスと言えば、昨年12月に発生した中央道笹子トンネルでの崩落事故が挙げられます。この事故では、多くの方の尊い命を失いました。ここに謹んでご冥福を祈ります。原因は現在調査中ですが、報道ではトンネル内の点検には手間や時間、費用がかかるためにマニュアル通りの点検がなされていなかったことが報告されています。建設から30年を超え、老朽化が著しく進んでいたトンネル内の点検が不十分であったならば、事故は起こるべくして起こってしまったのではないのでしょうか。大きな事故の経験則のひとつにハインリッヒの法則があります。「1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背景には300の異常が存在する。」という考え方です。ミスの積み重ねが、大事故につながります。我々ニュース編集部でも、慣れによる慢心が生じないように取り組んで参ります。引き続き、神奈川県士会ニュースをこれからもどうぞよろしく申し上げます。 中村

次号の原稿締め切りは**2月6日**です。

昭和大学保健医療学部理学療法学科(ニュース編集部宛)

FAX 045-985-7584

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルをお願い致します〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用下さい。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願い致します。

— 求人広告掲載についてのお知らせ —

求人広告はホームページの求人掲載方法からお申込下さい。

ホームページ：http://www.pt-kanagawa.or.jp/
お問合せは下記迄お気軽にお寄せ下さい。

◎宛先

〒220-0003 横浜市西区楠町4番地12 アーリア20 101号

神奈川県理学療法士会 事務局内 広告担当宛

TEL. 045(326)3225 / FAX. 045(326)3226

メールアドレス：kohkoku@pt-kanagawa.or.jp

受付時間：平日 10:00～17:00

◆ニュース編集部員◆

担当理事：坪内 敬典(茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)

部長：加賀谷善教(昭和大学保健医療学部)

部員：中村 大介(昭和大学保健医療学部)

山崎 弘嗣(昭和大学保健医療学部)

稲葉 康子(昭和大学保健医療学部)

加茂野有徳(昭和大学保健医療学部)

神奈川県理学療法士会 メールマガジン登録をお願いします

本会HPに掲載される、講習会、求人、会員向け最新情報を定期的にメルマガにて配信しております。

ぜひ、下記より登録してください。

◆メールマガジン配信の登録はこちらから

https://www.pt-kanagawa.or.jp/reg_mg.html



(年度末に送信エラーのメールアドレスは、本会で削除させていただきます)

ウェブサイト管理部 担当理事 福島 努

総 会 告 示

社団法人 神奈川県理学療法士会 第33回通常総会

日時：2013年**3月3日**(日) 13時15分～14時

場所：パシフィコ横浜 3階会議センター

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

※総会に出席できない場合は、必ず委任状を提出してください。